

| カデンツァ |

# CADENZA

石川県立音楽堂／オーケストラ・アンサンブル金沢 情報誌

萬齋のおもちや箱 Vol.4 鷹姫とオーケストラ  
野村萬齋、「鷹姫」を大いに語る

インタビュー ピアニスト 山中千尋



Special Interview

# 野村萬齋、 「鷹姫」を 大いに語る

野村萬齋

石川県立音楽堂  
アーティスティック・クリエイティブ・ディレクター



広上淳一

オーケストラ・アンサンブル金沢 アーティスティック・リーダー



野村萬齋がオーケストラ・アンサンブル金沢(以下、OEK)とタッグを組むことによって新たな舞台を生み出す「萬齋のおもちや箱」。これまで題材は「ボレロ」や「真夏の夜の夢」など西洋音楽と伝統芸能との出会だったが、今回は現代能「鷹姫」。能や謡に日本人作曲家が手掛けたオーケストラ現代曲が加わって想像される前衛的な舞台となる。

文=渡辺和(音楽ジャーナリスト)

## Mansai Nomura × Orchestra Ensemble Kanazawa

—「鷹姫」とは、どのような作品なのでしょうか。

イェイツの独特の世界で、「永遠の命を授かる水」を求め絶海の孤島にやってくる侵略者(若者)が、なかなか水を手に入れることができず、水が湧くときには泉を守る鷹姫によって眠らされてしまう」という

話です。<sup>さんだつ</sup> 篡奪者たちは、泉の湧くのを長年待ちつつだんだんと岩になってしまう。それが連続し、岩のコロスになっている。永遠に繰り返される若者の挑戦と、それが見事に覆されて人間が果てていくという循環が、作品のキモです。

全体の世界観はイェイツで包みたいと

思っている。「鷹姫」に絡めてイェイツの素敵な詩を何点か、最初と最後に朗読しようと思っています。

私はずっと演出と、クーフリンという端国の若き王子をやっておりました。初演の時のクーフリンが父の野村万作。私はその後を継いでいる。もうまもなく60になりますので、今回は息子の野村裕基に譲りました。三代連続でクーフリン役をやるのは、多分初めてでしょう。

—OEKはコスのような形ですか。

泉があって、それを守る姫と、岩たちのコスがあって、その外側に囃子方がいて、さらに外側にはオーケストラ。だんだん重層的になっている。OEKの皆さんには精密に動いていただくことも必要な。とはいえ、70年代前衛みたいなことをしようとは思っていません。

広上さんから推薦していただいた曲の中で、絡める部分があれば絡むかもしれない。能の方はある種の形ができていますので、そこに割って入っていただくので、広上さんが大変かもしれないという気がします。

オーケストラの場合は譜面があってそれを弾くということでしょうけれども、もうすこしオペラに寄るといえるか、演劇的なものを一緒に作っていただくことになる。場合によっては囃子とのコラボレーションとして、必要なものをお願いするかも。

—イェイツについて教えてください。

ノーベル賞ももらった非常に高名な詩人ではありますが、アイルランド、ケルト文学というものを背負っている。ケルトというのはキリスト教の文脈とはまた違う、ちょっと不思議な、どちらかというと日本に近い部分もあるんじゃないかと思います。

自然の霊力みたいなものに対する畏怖がある。そういった文脈を多少なりとも理解しておく必要があるかもしれないですね。

また一方で、イェイツは非常に平和主義ではあるけれども、女性に対する強い憧れがあるようです。女性が守る泉というのは、一種、女性そのもののイメージ。歓喜の時がある、永遠の命を授ける水が噴き出すということが、女性のエクスタシーにもかかるようなダブルミーニングがある。そこに果敢に挑んでいく男性たちがいる。イェイツが言う絶海の孤島は、基本的には女族の島で、そこに切り込んでくるのは勇者たる男性陣だけれども、結局は永遠の水を得ることもなく岩化してしまう。そういう空虚に、永遠の命ということも女性性になぞらえている。生命を育む、ということもあるでしょう。男はあくまで挑戦者で、反乱者。どうもそういう世界

観が、イェイツの中にはあるようです。

—作品に外国の視点は感じますか。

日本化された能の中での解釈に入っていますから、能を見慣れた人には世界観が顕著に違うことはないでしょう。けれども、地謡と囃子方が分業しているのがお能ですが、もっと古代のお能の形のようにコス、つまり地謡の人、が役をやったり、地謡になったり。集団でいったり、個の役になったり、入れ替わり立ち替わりするのはどちらかというと珍しい。輪唱などが入るのも、手法としては珍しい。

—OEKの演奏曲には、所謂「現代音楽」が並んでいますね。

創作年代でいうと武満さんたちの一昔前にできたのが「鷹姫」ですから、時代感は共通かもしれません。でも、根幹が音楽より「鷹姫」のストーリーやその





## Mansai Nomura × Orchestra Ensemble Kanazawa

☑ テーマです。もちろん音楽自体を2次元的には聴くわけですが、3次元的に起こっていることの中で現代曲も理解する。全く違う意図で作られた曲が並びつつも、ひとつの「鷹姫」の世界にマッチングしていけばいいなと思っています。イェイツも前衛、この新作の「鷹姫」も前衛、今回の現代曲も前衛。そこで

ひとつ括れる作業ではないかな。テーマは、単純すぎるぐらい単純。「永遠の命を望む人間がいても、なかなかそうはならない」って、それだけの話なんです(笑)。そういう憧れは、どの時代でもどの国でも、みんなどこかで思う、一種の永遠のテーマですから。人間、永遠の命などと考えたときには、はっきり

と答えは出せないし、「死にたくない」と思っても混沌としたことになるじゃないですか。そういう「混沌、すなわち前衛」みたいな世界観になるのでしょうか。言葉のイメージ、音楽のイメージ、また能や狂言による身体イメージ、それら3つがコラボすることで、命について考えることになれば、と思っております。

混沌、すなわち「前衛」みたいな世界観になるのでしょうか

### 野村萬齋 Mansai Nomura

祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。各分野で非凡さを発揮し、狂言の認知度向上に大きく貢献。現代の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。

観世寿夫記念法政大学能楽賞、紀伊国屋演劇賞、芸術祭優秀賞、読売演劇大賞最優秀作品賞、2024年5月坪内逍遙大賞など受賞多数。石川県立音楽堂アーティストック・クリエイティブ・ディレクター、全国公立文化施設協会会長。



10/18 [土] 14:00開演 (13:15開場) コンサートホール

オーケストラ・アンサンブル金沢  
MANSAI CREATION BOX Vol.4 ~ 萬齋のおもちゃ箱 ~  
現代能「鷹姫」とオーケストラコラボレーション

- 演出・語り: 野村萬齋 (石川県立音楽堂アーティストック・クリエイティブ・ディレクター)
- 指揮: 広上淳一 (OEKアーティストック・リーダー)
- 出演: 老人 / 大槻文蔵 (シテ方観世流 能楽師 人間国宝)  
鷹姫 / 大槻裕一  
空賦麟 (くふりん) / 野村裕基
- チェロ: 植木昭雄

能「鷹姫」  
「イェイツ詩集」朗読  
武満徹 / 弦楽のためのレクイエム  
武満徹 / 3つの映画音楽  
西村朗 / 鳥のヘテロフォニー  
渡辺俊幸 / O Wonderful  
尾高惇忠 / 独奏チェロのための<<瞑想>>

【全席指定】SS席 ¥7,000 / S席 ¥6,000  
A席 ¥4,000 / B席 ¥2,500

※25歳以下当日券50%オフ (要証明書類)  
※OEK定期会員、邦友会会員SS・S席 ¥1,000割引、A席 ¥500割引  
※未就学児入場不可



音楽堂リサイタルシリーズ Vol.7

## チャイコフスキー国際コンクール 覇者の二人による 心躍るスペシャルデュオ

文=真嶋雄大(音楽評論家)

Mayuko Kamio × Ayako Uehara

ともにチャイコフスキー国際コンクールの覇者である神尾真由子と上原彩子が11月3日、「音楽堂リサイタルシリーズ2025」に登場する。

神尾は2020年OEKとチャイコフスキー「ヴァイオリン協奏曲」を、2021年には同じくプロコフィエフの「ヴァイオリン協奏曲」、そして2022年にはピアノ「ブエノスアイレスの四季」のソリストを担い、すでにお馴染みの存在。一方の上原彩子は2011年にやはりOEKとベートーヴェン「皇帝」で共演して以来のようなので、しばらくぶりのステージとなる。

とまれ、神尾にしても上原にしても堂々たるキャリアとポテンシャルで演奏活動を継続しており、現在では2人ともまさに成熟の境地にある。神尾は一時前進的な、切り込むような激しい側面も持っていたが、今やエモーションやパッションはそのままだ、ソナタのアレグロ楽章では迎刃を睥睨するかの威風堂々たる響きで圧倒しつつピアノとの親密な対話を展開し、緩徐楽章では甘美で伸びやかな旋律の歌い廻しがしっとりした風情を醸す。

一方の上原も、豊かな诗情と馥郁たるイマジネーション、そしてみずみずしく清冽な情感を携えて伸びやかにたっぴりと歌い上げ、細部にまで丁寧に繊細に彫琢していくピアノリズムが印象的だ。

その2人のデュオは音楽堂初。しかもプログラムは所縁の深いロシアもの。チャイコフスキーにしてもプロコフィエフにしても、どれほど诗情に満ちた響きや歌心に溢れた旋律美を描くのか、またスラヴの大地を思わせる香りや仄暗い情景などロシア音楽特有の情調に共感し、いかなる音楽的感興を湧き上がらせてくれるのか、興味は尽きない。さらに稀有な2人の邂逅がアンサンブルとして駆動する時、作品の真影が詳らかになり、格調高く、しかも官能的な美が芳醇に紡がれるだろう。まさに一期一会、永く記憶に残るリサイタルになる。



神尾真由子(ヴァイオリン)  
Mayuko Kamio, Violin

2007年に第13回チャイコフスキー国際コンクールで優勝。国内の主要オーケストラはもとより、バイエルン州立歌劇場管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団などと共演。これまで里屋智佳子、小栗まぢ絵、工藤千博、原田幸一郎、ロシーニ・ディレイ、川崎雅夫、ザハール・ブロン各氏に師事。楽器は宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1731年製作「Rubinoff」。大阪府知事賞、京都府知事賞、第13回出光音楽賞、文化庁長官表彰、ホテルオークラ音楽賞はじめ数々の賞を受賞。東京音楽大学教授。

上原彩子(ピアノ)  
Ayako Uehara, Piano

第12回チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。国内外のオーケストラのソリストとしての共演も多い。CDはEMIクラシックスから3枚がワールドワイドで発売された他、キングレコードより「ラフマニノフ 13の前奏曲」「上原彩子のモーツァルト&チャイコフスキー」「デビュー20周年記念コンサート・ライブ盤」等4枚がリリースされている。東京芸術大学音楽学部 早期教育リサーチセンター准教授。令和4年度文化庁長官表彰受賞。

11/3 [月・祝] 14:00開演 (13:15開場) コンサートホール

チャイコフスキー国際コンクール  
覇者の二人による  
音楽堂リサイタルシリーズvol.7  
心躍る♪スペシャルデュオ!!

- ヴァイオリン: 神尾真由子
- ピアノ: 上原彩子

チャイコフスキー / 懐かしい土地の思い出 op.42  
チャイコフスキー / ワルツ・スケルツォ op.34  
プロコフィエフ / ピアノ・ソナタ第7番 変ロ長調 op.83  
プロコフィエフ / ヴァイオリン・ソナタ第1番 へ短調 op.80

【全席指定】S席 ¥3,000 / A席 ¥2,000 / B席 ¥1,500



# オーケストラアンサンブル金沢 定期公演

# 2024-2025シーズンファイナルを彩る2公演!

10.4  
sat

第497回定期公演  
マイスター・シリーズ

## 多彩な実力派4人の ソリストから紡がれる 彩なる響きの世界

指揮:川瀬賢太郎(OEKパーマネント・コンダクター)  
ソプラノ:種谷典子  
フルート:マトヴェイ・デミン  
ハープ:高野麗音

(写真) 2024年7月5日 第482回定期公演フィルハーモニー・シリーズ



コンサートホール

モーツァルト／  
フルートとハープのための協奏曲  
ハ長調 K. 299  
マーラー／交響曲 第4番 長調

2024/25年のマイスター・シリーズを締め括るステージには、OEKパーマネント・コンダクターの川瀬賢太郎が登場。OEKにとっては初のマーラー作品となる「交響曲第4番」と、モーツァルトの可憐な佳品「フルートとハープのための協奏曲」を披露する。マーラーの最終楽章で登場するソプラノには、種谷典子。モーツァルトでは、フルートのマトヴェイ・デミン、ハープの高野麗音と、今がまさに“旬”の豪華なソリスト陣を迎えて、彩なる響きの世界が紡がれる。

マーラーが40歳となった1900年に一応の完成を見た「交響曲第4番」。しかし、軸となる最終楽章だけは、管弦楽伴奏付きの歌曲として、1893年に既に初演されていた。巨大な編成と長大さが特徴のマーラーの交響曲の中であって、当曲は比較的コンパクト。生きる幸せを大らかに飲んだかと思えば、スコルダトゥーラ(変則調弦)のヴァイオリンが死神のメロディを奏で、その後には透明で静謐な瞑想が続いて、最後に夢見るような「天上の生活」が謳い上げ

られる。ソプラノの種谷は、イタリアに学び、多くのオペラ公演で次々に大役を演じて話題の若手注目株。川瀬のしなやかで繊細な音楽創りとの出逢いで、どんな“化学反応”が起きるのか。

これに先立って披露されるのは、22歳のモーツァルトが、フルートとハープ、各々の楽器を能くした侯爵とその令嬢のため、滞在先のパリで書いた協奏曲。2つの楽器の特性を完璧に把握した上で、魅力的で瑞々しい楽想を次々に繰り出すあたり、まさに天才作曲家の面目躍如と言えよう。今回、フルート独奏を務めるデミンは、ロシア出身。2019年にはチャイコフスキー・コンクールの木管楽器部門で、フルート奏者として史上初の第1位に。現在は南西ドイツ放送交響楽団の首席フルート奏者の任にある。一方、ハープの高野は2008年にパリ国際ハープコンクールで最高位を獲得し、多彩な活躍を続ける実力派。川瀬と2人の名手が織り上げる、優雅な響きの世界に身を委ねたい。

10/4 [土] 14:00開演(13:15開場)

第497回定期公演マイスター・シリーズ  
OEK初となるマーラーの交響曲を  
川瀬賢太郎が指揮!

【全席指定】SS席 ¥7,000 / S席 ¥6,000 / A席 ¥5,000  
ピスタ席 ¥3,000 / スターライト席 ¥1,500 / 車椅子席 ¥6,000

※25歳以下公演前日より半額で予約可  
※託児サービス有

10.24  
fri

第498回定期公演  
フィルハーモニー・シリーズ

## プロコフィエフと ストラヴィンスキー、 若きマエストロが 臨む新境地

指揮:ピエール・デュムソー  
ピアノ:務川慧悟

(写真) 2023年1月28日 第463回定期公演マイスター・シリーズ



グノー／歌劇《ファウスト》よりバレエ音楽  
プロコフィエフ／  
ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調 作品26  
ストラヴィンスキー／バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)

OEKの2024/25年シーズン定期公演の掉尾を飾るステージに、フランスの俊英指揮者ピエール・デュムソーが降臨。共にロシア出身で、20世紀前半の楽壇に旋風を巻き起こした2人の作曲家、プロコフィエフとストラヴィンスキーの佳品を中心に披露する。これまでに2度、OEKの定期に登場し、いずれも故国フランスの作品を取り上げて、緻密かつ色彩感ある秀演を展開し、聴衆を魅了したデュムソー。今回、取り上げる2作品も、実はパリに深い関わりがある。若きマエストロが臨む新境地。聴き逃す訳にはいかないだろう。

20世紀に書かれたピアノ協奏曲の中であって、卓越した傑作と称えられるプロコフィエフの「ピアノ協奏曲第3番」は、1921年に演奏旅行先のパリで完成。当時、隆盛を迎えつつあった「新古典主義」を反映し、対位法的な作曲技巧が目立つ一方、抒情性や故国ロシアの民俗性も随所に聴き取れる。今回、この傑作にソリストとして対峙するのが、2019年にロン＝ティボー

2位、21年にエリザベト3位と難関コンクールで次々に入賞を重ね、今や国際的に活躍する務川慧悟。作品ごとに相応しい音色を与え、新たな生命を与える気鋭のピアニストは、「初演時めかくや」という瑞々しい音楽を聴かせてくれるはずだ。

一方、ストラヴィンスキーのバレエ音楽《火の鳥》は1910年、バレエ・リュス(ロシア舞踊団)からの依頼で書かれ、パリ・オペラ座で初演。火の鳥から力を得た王子イワンをめぐる、ロシアの古い冒険譚を題材に織り上げられる、鮮烈な音のタペストリーだ。バレエを伴わない組曲版は3種があるが、今回取り上げられるのは、最も演奏機会の多い1919年版。さらに、デュムソー十八番のフランス作品、グノーの歌劇《ファウスト》からのバレエ音楽が“前菜”として添えられる。常に、音楽の最先端を走って来たパリ。そして、同地から“音の使者”としてやって来た、若きマエストロ。文化都市の息吹が、リアルに感じ取れるステージともなりそうだ。



コンサートホール

10/24 [金] 19:00開演(18:00開場)

第498回定期公演フィルハーモニー・シリーズ  
神を細部に宿すデュムソーの火の鳥。  
務川慧悟のプロコフィエフ

【全席指定】SS席 ¥7,000 / S席 ¥6,000  
A席 ¥5,000 / ピスタ席 ¥3,000  
スターライト席 ¥1,500 / 車椅子席 ¥6,000

※未就学児入場不可

## 変化する 「光」を舞台に 珠洲の自然、人に 思いはせ

この企画が立ち上がったとき、中村壱太郎さんから「この人と舞台を制作したい」とご提案くださったのが美術作家・中島伽耶子さんでした。中村さんは珠洲にある中島さんの作品「あかるい家」を訪れ、中島さんとともに奥能登を歩きました。この体験から新たな舞台が生まれます。今回初めて舞台制作に携わる中島さんにお話を伺いました。

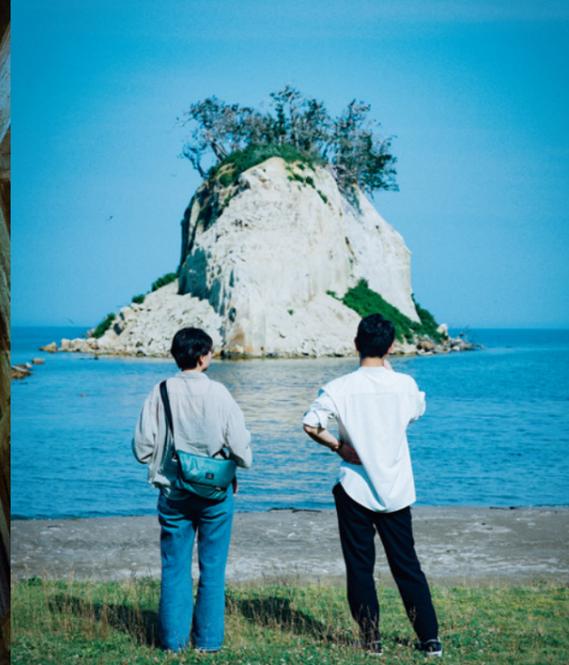
「あかるい家」の内装を見上げる中村さんと中島さん

このたび、歌舞伎俳優の中村壱太郎さんと舞踊「あかるい家」でコラボレーションさせていただくことになりました。

「あかるい家」は、もとは2021年の「奥能登国際芸術祭2020+」に寄せた作品です。珠洲市正院町の珪藻土工場の事務所だった空き家をまるまる使わせていただき、壁面や天井に無数の穴をあけて透明の亚克力を差し込むことで、昼は部屋に太陽の光を取り込み、夜は照明が外へと漏れだします。

当時、珠洲に滞在しながら制作したので、空き家の大家さんをはじめとした地域の方々とすごく仲良くさせていただきました。

(左)「あかるい家」を外から眺めるお2人  
(右) 昼は太陽の光を取り込んで光る。  
(右下) 外装に穴をあけて差し込まれた亚克力



(上) 形が変わってしまった見附島  
(下) 中島さんと仲のいい地元の方とふれあう中村さん

その後、能登半島地震が発生しました。2カ月に1度のペースで能登に通っていますが、ボランティアというより、友人、知人の顔を見にいき、お手伝いできることがあればする、という程度のことで…。そんな時、壱太郎さんから今回のコラボのお誘いがあり、最初は驚きましたが、うれしく光栄でした。

今年6月には壱太郎さんと珠洲でお会いしました。地震後も何とか倒壊しなかった「あかるい家」はもちろん、私がお世話になった現地の人に出会っていただいたり、私が好きな場所を紹介したり。壱太郎さんがとても丁寧に見てくださったのが印象的でした。

### 中村壱太郎と珠洲を歩く

### 新たな舞台「あかるい家」

とはいえ、舞台づくりは初めての経験です。壱太郎さんからは「舞台美術というより、美術作家として作品をつくるつもりで参加してください」と言っていただき、日本舞踊に新しいものを取り入れたいという今回のコラボの意義を受け止めました。

公演は「光」がテーマです。珠洲で制作した「あかるい家」のように、舞台上のたくさんの穴から光が漏れでて、どんどん変化していくようにしたいです。光の粒の集まりが、星空や雨粒、虫などいろんなふうに見えればいいなと思っていて、私にとってその一つが、微生物が重なってできた珪藻土、命が積み重なった珠洲の地のイメージです。

自然と共生しながら、生き生きと過ごしている珠洲の人々にも思いをはせられる舞台になればうれしいですね。いつもは私が能登の方に元気をいただいていますので。

壱太郎さんの舞踊と融合することで、どんな「光」が生まれるのか、私も楽しみです。

▼偶然にも同年のお二人。珠洲を訪れたこのときが初対面でもあった



# 光

## HIKARI



中島伽耶子  
Kayako Nakashima

1990年京都生まれ。2020年に東京藝術大学美術研究科博士後期課程修了。物事を隔てる境界や壁を使い、空間と作品とが一体となる大規模なインスタレーション作品を展開している。主な展覧会に、「あ、共感とかじゃなくて。」東京都現代美術館(2023)、「TOKYO BIENNALE 2023」(2023)、第15回 Shiseido art egg 中島伽耶子展「Hedgehogs」(2021)、「奥能登国際芸術祭2020+」(2021)、「瀬戸内国際芸術祭2016」(2016)など。

10/12 [日] 14:00開演(13:15開場) 邦楽ホール  
日本製鉄 紀尾井ホール・石川県立音楽堂 連携事業  
歌舞伎俳優 中村壱太郎が誘う  
邦楽とクラシック音楽の世界  
光 —HIKARI—

○出演:  
立方／中村壱太郎  
立方／中村蕨政  
長唄／杵屋巳三郎  
三味線／今藤長龍郎  
笛／福原寛瑞  
太鼓／見目明  
カウンターテナー／彌勒忠史  
チェンバロ／首根麻矢子  
監修／徳丸吉彦 ほか

〈舞踊 長唄「月」〉  
○トーク：中島伽耶子、中村壱太郎  
〈舞踊「あかるい家」〉  
クーブラン／恋のうくいす  
ヘンデル／オンブラ・マイ・フ  
ダウランド／流れよ、わが涙  
ダウランド／晴れても曇っても  
武満徹／小さな空  
〈舞踊「越後獅子協奏曲」〉

【全席指定】一般 ¥5,000 / 25歳以下 ¥2,500

## ステージアートの世界 with オーケストラ・アンサンブル金沢

## 三野洋祐 インタビュー

Interview: Mino Yosuke



ステージアートの世界・第2夜 クラシック・バレエ&amp;コンテンポラリー・ダンス ガラコンサートより(2023年12月28日)

## 光というタイトルについて

この作品をつくり始めた時に「光ってどういうものなんだろう」ってまず考えました。その時に、光って当ててもらおうものだなと思ったんですね——自分が輝けるといことは、ほかの人に光を当ててもらっているからだし、逆に自分がその人を輝かせることもできる。そう考えていくと、人が生まれた瞬間からご両親だとか周りの人たちから光を当てられているし、舞台上上がる子どもたちも照明さんがいないと光が当たりませんよね。そして、これは飛躍しすぎなのかもしれないけど、光ってというのは引き継がれていくもの、道しるべを示してくれるものなんじゃないか……そういう発想からはじまりました。

あとはいろんな種類の光がある。例えば蛍ぐらいの微量の光が集まったものだったり、乱反射してる光、若い人たちから出るピュアな光とか……舞台は光だから照明に比重がかかる作品になるかもしれませんが、それぞれの光を7つくらいの作品で構成していて、K-BALLETの山本さんと岩井さんをはじめとして、石川県でバレエを習っている子どもたちが踊ります。振付を考えるうえで、ステップの難しさや速さを

考えなきゃいけないんですが、子どもが踊るから、と思って振り付けていません。ですから子どもたちが踊る作品、結構難しいと思います。できるようになるまでに時間はかかるかもしれないけど、プッシュすればするほど応えてくれるんじゃないかと思ったからですが、指導してくださる先生方が助けてくださっているの、ものすごくスムーズに進んでいます。

## 新しく作品を創り出すということ

先日、東京で山本さんと岩井さんに振付けてきました。山本さんは同じ石川県出身ですが、実際にお会いしたのは初めて。次に会うのは公演直前のリハーサルということになります。全体的にどんな作品になるのか——今少しずつ見え始めてきているくらいですね。もちろん振付は全部終わっていますけど、振り付けて終わりじゃない、最後までわからないものなんだって気づいてきたんです。僕が今まで思っていたのは、鉛筆で絵を描いただけ、そこに色を加えたりすることをしていなかったんです。例えば衣装、照明も

あって、12月に実際にそれを見たときに自分がどう思うか。必要だと思えば変えなきゃいけないだろうなって。

これは色んなプロフェッショナルの人達と仕事をしてきた中で何年か前から見えてきたんですね。衣装ひとつとっても、デザイナーさんもそのキャラクターの性格をわかりやすく伝えたいって想像する。自分だけだと自分の考えの範疇で終わってしまうから、人に話して委ねることによって、光が反射したり屈折するようにならなくて返ってきたりするほうが面白い。舞台はいろんな要素が積み重なっていくから、ものを創るっていうのはまさにいろんな光の集合体って感じがします。

三野洋祐  
(監修・振付)  
Mino Yosuke

## ステージアートの世界 with オーケストラ・アンサンブル金沢

金沢歌劇座

第1夜 12/24 [水] 18:30開演(17:45開場)

## 〜くるみ割り人形〜

○指揮:松井慶太(OEKパーマネント・コンダクター)  
○監修:徳山華代  
エコーレ・ドゥ・ハナヨバレエ、永井与志枝バレエスタジオ  
チャイコフスキー/バレエ「くるみ割り人形」(全幕)

第2夜 12/25 [木] 18:30開演(17:45開場)

## 〜能登への祈り〜

○監修・振付:三野洋祐  
○指揮:松井慶太(OEKパーマネント・コンダクター)  
○出演:岩井優花(K-BALLET TOKYO)  
山本雅也(K-BALLET TOKYO)  
横倉明子バレエ教室、ダンスドライブ・ゼロ、中西優子ダンススペース  
バレエクラス「ルルベ」、Ariel Academy of Ballet (ほか)

## 創作バレエ「光」

ビゼー「カルメン」より

【全席指定】2夜セット券(S席のみ ¥10,000)  
S席 ¥7,000/A席 ¥5,000/B席 ¥3,000  
※OEK定期会員S席¥1,500引き/A席¥1,000引き  
(音楽堂チケットボックスのみの取扱い) ※託児ルームあり



松井慶太

Ayano Shindo

山本雅也 (K-BALLET TOKYO)

岩井優花 (K-BALLET TOKYO)



## 野村万作の狂言〈見物左衛門〉と友枝昭世の能〈清経〉

村上 湛 解説

Explanation: Tatau Murakami

### 「いしかわ 名匠・能楽鑑賞会」プロデューサーが見どころを語る



Explanation

#### 意義と見どころ 村上湛 (音楽堂邦楽主幹、明星大学教授)



世上の「能楽鑑賞会」には3種類あります。流儀や芸派による定例会。役者の個人催会。外部者のプロデュース公演。前二者は普通ですが「外部プロデュース」は難しい。理由は、誰に頼んで何を出したら良いか、普通はよく分からないから。従って、実質は「役者たちへ丸投げ」の外注公演になることが多いのです。このたび発会する「いしかわ 名匠・能楽鑑賞会」は

違います。石川県立音楽堂が「地元・石川県の文化向上のため、舞台芸術として最高の演目と演者を選びすぐって企画する」明確な意志に支えられた外部プロデュース公演です。全国的に稀有な催しと自負しています。

来年度以降もこの理想のもと、みなさんに十分楽しんで頂ける優秀な公演をお届けしたいと思います。

#### 狂言「見物左衛門 深草祭」野村万作

和泉流では唯一の「一人狂言」として異彩を放つ。コトバと仕方(様式性を伴う演技)によって情景を描き出す変幻自在の独演技術がないと動まらない。

壮年の頃からこれを得意としてきた野村万作が、94歳を迎えたいま、円熟を極めた全人格的な至芸を見せてくれるだろう。

#### 能「清経 音取」友枝昭世

世阿弥が創作した名曲の中で、この〈清経〉はベスト3に入る傑作であろう。原典『源平盛衰記』(『平家物語』の異本)に基づきつつも、男女の愛とその不毛を独創した点において、この能の劇的主題は恐ろしいまでに冴え返っている。平清経(?~1183年)は清盛の孫、重盛の三男。没時の官職「左(近衛)中将」は権門貴族の後継者として申し分のない頭職。つまり、その孤心は抜群

に高貴である。若いころからこの能を得意としてきた名手・友枝昭世が85歳を迎えたいま、透徹した孤心の究極が舞台上に顕れよう。

特殊演出「音取」は笛方最高の秘事。シテの出に際し、10分間にも及ぶ長大な曲節を吹く。清経の孤心の表現であり、描写を超えた詩的情趣の表現である。現代能楽界における「音取」の第一人者、森田流笛方・松田弘之の名技が期待される。



野村万作



友枝昭世

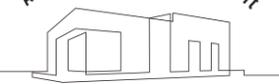
12/19 [金] 15:00開演(14:15開場) 石川県立音楽堂

#### 音楽堂カルチャーナビ2025 特別版 いしかわ 名匠・能楽鑑賞会

能「清経 音取」 狂言「見物左衛門 深草祭」 解説講演「心づくしの黒髪」  
○シテ/友枝昭世(人間国宝) ○シテ/野村万作(人間国宝) ○村上 湛(音楽堂邦楽主幹)

【全席指定】  
SS席 ¥8,000 / S席 ¥7,000  
A・車椅子席 ¥6,000  
25歳以下特別席 ¥1,000  
※25歳以下特別席は機数自由席、音楽堂チケットボックスでのみ取扱。要証明書類

Artist meets Kanazawa craft



金沢百番街



石川県立音楽堂

音楽の楽しさを  
観客と共有できる  
稀有なステージ



撮影協力:ピソバイレスピラシオン / しあわせチーズ

#### ピアニスト 山中千尋 (群馬県出身)

まるでチーズそのものを食べているみたいでおいしいですね、このチーズケーキ。すごくきみが細かく、舌で溶けていきます。

即興演奏のジャズって、次から次にいろいろな音が湧いては消えていくんです。チーズもジャズに似て、複雑な味わいが次々と舌の上ののってくるのが、楽しい。その楽しさがこのチーズケーキには感じられますね。

先日、石川県立音楽堂コンサートホールでジャズピアノとドラム、ベースのトリオサウンドを聴いていただきました。

いいホールは、密度を持った静けさと、花が開くような華やかさを持ち合わせていて、音楽の楽しさが感じられるんです。音楽堂はそれをお客さまとシェアできる、数少ないステージの一つだと思います。奏でた音が、自分の想像を超えた色彩で聴こえてきて、そこからインスピレーションを受けて、また演奏する。すごく楽しい時間でした。

今回はジャズでは珍しく、生の音で聴いていただきました。何も加工していない音がホールに響き、お客さまの体に響き、心に響いていく。会場が「鳴る」と言うのでしょうか。お客さまの反応が大きく感じられ、ステージと同じぐらい観客席も熱量をもってくださり、温かいステージになりました。

アコースティックの舞台は、自分自身を聴く場所でもあります。やはり、生の舞台を踏まないといけないなど、今回あらためて感じました。

今年でデビュー20周年を迎え、9月にベスト盤、10月には記念のアルバムを発売します。ジャズピアノは、音の中で遊んだり、時には泳いでみたり、音をキャッチボールしたりと、自由で、音を心から楽しむことができます。これからも、ジャズの楽しさ、気軽さを感じていくと共に、華やかさのある演奏をお届けしていきたいです。

#### Profile

##### 山中千尋 (やまなか ちひろ)

ニューヨークを拠点に世界で活躍するジャズ・ピアニスト。ダイナミズムと超絶技巧、ジャズの伝統と斬新なアレンジを併せ持ち、初の日本女性ジャズ・ピアニストとしてデッカレーベルと契約し全米デビュー。世界の主なジャズフェスティバルや、カーネギーホール、ケネディーセンター、リンカーンセンターなどにも出演。米ダウンビート紙、英ガーディアン紙でも絶賛を受ける。NHK交響楽団、群馬交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団との共演も多数。24年10月には、26枚目のアルバム「Carry On」(Blue Note)をリリースした。

#### SHOP INFO

##### PISO by respiración

石川県金沢市木ノ新保町1-1  
金沢百番街「あん」と内

TEL 076-201-8234

〈営業時間〉8:30~20:00 〈休休日〉不定休



# 石川県立音楽堂主催 & OEK公演スケジュール 10月～12月

10.1 [水] 19:00開演(18:00開場)  
音楽堂カルチャーナビ2025 Vol.2  
池辺晋一郎 トークサロン♪



出演:  
池辺晋一郎  
(作曲家、石川県立音楽堂エグゼクティブ・ミュージック・ディレクター)  
篠まどか(俳人)  
池辺晋一郎案内による音楽トーク  
演奏コーナー有り  
【全席自由】¥1,000(限定100席)

10.4 [土] 14:00開演(13:00開場)  
オケストラアンサンブル金沢  
第497回定期公演 マイスター・シリーズ  
OEK初となるマーラーの  
交響曲を川瀬賢太郎が指揮!



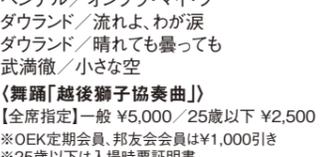
指揮:川瀬賢太郎 (OEKパーマネント・コンダクター)  
ソプラノ:種谷典子  
フルート:マトヴェイ・デミン  
ハーブ:高野麗音  
モーツァルト/フルートとハーブのための協奏曲  
マーラー/交響曲 第4番  
【全席指定】SS席 ¥7,000/S席 ¥6,000  
A席 ¥5,000/ビスタ席 ¥3,000  
スターライト席 ¥1,500/車椅子席 ¥6,000

10.12 [日] 14:00開演(13:15開場)  
日本製鉄紀尾井ホール・石川県立音楽堂 連携事業  
歌舞伎俳優 中村孝太郎が誘う  
邦楽とクラシック音楽の世界  
光—HIKARI—



出演:  
立方/中村孝太郎、中村凱政  
長唄/村屋三郎 三味線/今藤長龍郎  
笛/福原寛瑞 太鼓/見目萌  
カウンターテナー/彌勒忠史  
チェンバロ/曾根麻矢子  
監修/徳丸吉彦 ほか

10.13 [月・祝] 14:00開演(13:15開場)  
オケストラアンサンブル金沢  
2025いしかわ秋の芸術祭 文化絢爛  
オーケストラ・ジャズ!



指揮:扶間美帆 ●ピアノ:塩谷哲  
ベース:吉野弘志  
ドラムス:小田桐和寛  
扶間美帆/南坊の誓い  
塩谷哲/Elegy for Piano and Orchestra  
H.ハンコック(扶間美帆編)/  
[Maiden Voyage]組曲  
【全席指定】  
S席 ¥5,000/A席 ¥4,000/B席 ¥3,000  
※OEK定期会員、邦友会会員はS,A席のみ¥1,000引き

10.18 [土] 14:00開演(13:15開場)  
オケストラアンサンブル金沢  
MANSAI CREATION BOX Vol.4  
～萬斎のおもちゃ箱～  
現代能「鷹姫」と  
オーケストラコラボレーション



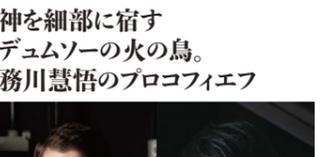
指揮:川瀬賢太郎 (OEKパーマネント・コンダクター)  
ソプラノ:種谷典子  
フルート:マトヴェイ・デミン  
ハーブ:高野麗音  
モーツァルト/フルートとハーブのための協奏曲  
マーラー/交響曲 第4番  
【全席指定】SS席 ¥7,000/S席 ¥6,000  
A席 ¥5,000/ビスタ席 ¥3,000  
スターライト席 ¥1,500/車椅子席 ¥6,000

10.12 [日] 14:00開演(13:15開場)  
日本製鉄紀尾井ホール・石川県立音楽堂 連携事業  
歌舞伎俳優 中村孝太郎が誘う  
邦楽とクラシック音楽の世界  
光—HIKARI—



出演:  
立方/中村孝太郎、中村凱政  
長唄/村屋三郎 三味線/今藤長龍郎  
笛/福原寛瑞 太鼓/見目萌  
カウンターテナー/彌勒忠史  
チェンバロ/曾根麻矢子  
監修/徳丸吉彦 ほか

10.24 [金] 19:00開演(18:00開場)  
オケストラアンサンブル金沢  
第498回定期公演 フィルハーモニー・シリーズ  
神を細部に宿す  
デュムソーの火の鳥。  
務川慧悟のプロコフィエフ



指揮:ピエール・デュムソー  
ピアノ:務川慧悟  
グノー/歌劇「ファウスト」よりバレエ音楽  
プロコフィエフ/ピアノ協奏曲 第3番  
ストラヴィンスキー/バレエ組曲「火の鳥」(1919年編)  
【全席指定】SS席 ¥7,000/S席 ¥6,000  
A席 ¥5,000/ビスタ席 ¥3,000  
スターライト席 ¥1,500/車椅子席 ¥6,000  
※SS席 残りわずか

10.29 [水] 12:15開演(11:30開場)  
石川県立音楽堂  
ランチタイムコンサート  
ナポリからの贈り物



指揮:坂原峻希  
ピアノ:山田ゆかり  
トスティ/マレキアーレ  
ロッシーニ/ドセヴィリアの理髪師)より  
私は街の何でも屋  
【全席自由】¥500  
※3歳以上入場可(要チケット)、2歳以下は入場不可

11.3 [月・祝] 14:00開演(13:15開場)  
チャイコフスキー国際コンクール覇者の  
二人による音楽堂リサイタルシリーズvol.7  
心躍る♪スペシャルデュオ!!



ヴァイオリン:神尾真由子  
ピアノ:上原彩子  
チャイコフスキー/懐かしい土地の思い出  
チャイコフスキー/ワルツ・スケルツォ  
プロコフィエフ/ピアノ・ソナタ第7番  
プロコフィエフ/ヴァイオリン・ソナタ第1番  
【全席指定】  
S席 ¥3,000/A席 ¥2,000/B席 ¥1,500  
※OEK定期会員、邦友会会員はS席のみ10%割引

11.14 [金] 19:00開演(18:15開場)  
11.15 [土] 14:00開演(13:15開場)  
オケストラアンサンブル金沢  
特別定期公演 Vol.1



指揮:岡崎広樹  
ピアノ:アルフォンス・スマン  
ベートーヴェン/「コリオラン」序曲  
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲 第1番  
フォーレ/「ペレアスとメリザンド」組曲より  
シシリエンヌ  
ラヴェル/ピアノ協奏曲  
【全席指定】  
S席 ¥5,000/A席 ¥4,000/棧敷席 ¥2,500  
すたあらいと席 ¥1,000/車椅子席 ¥5,000

11.18 [火] 19:00開演(18:30開場)  
音楽堂カルチャーナビ2025 Vol.3  
村上漣とひも解く能の魅力



出演:村上漣  
(明星大学人文学部日本文化学科教授  
石川県立音楽堂邦楽主幹)  
【全席自由】¥1,000  
※12/19いしかわ名匠・能楽鑑賞会のチケット  
お持ちの方は¥500

12.4 [木] 19:00開演(18:15開場)  
12.5 [金] 14:00開演(13:15開場)  
オケストラアンサンブル金沢  
特別定期公演 Vol.2



指揮:ホルン:ラデク・パボラーク  
共演:パボラーク・アンサンブル  
ヴァイオリン:マルティン・パチョバー、高橋絃子  
ヴィオラ:カレル・ウンターミュラー  
コントラバス:ダニエル・スルピナス(OEK首席奏者)  
モーツァルト/歌劇(ドン・ジョヴァンニ)序曲  
モーツァルト/  
セレナード第6番「セレナータ・ノットウルナ」  
モーツァルト/ホルン協奏曲 第3番  
ドヴォルジャーク/チェロ組曲  
【全席指定】  
S席 ¥5,000/A席 ¥4,000/棧敷席 ¥2,500  
すたあらいと席 ¥1,000/車椅子席 ¥5,000

25歳以下の方当日券半額 (前日予約可/要証明書類) 65歳以上5%割引

音楽堂主催/別会場の公演

12.19 [金] 15:00開演(14:15開場)  
音楽堂カルチャーナビ2025 特別版  
いしかわ 名匠・能楽鑑賞会



能「清経 音取」  
シテ/友枝昭世(人間国宝)  
ワキ/宝生茂哉(人間国宝)  
笛/松田弘之  
小鼓/曾和正博  
大鼓/國川純  
地謡/香川靖剛(地頭)  
長島茂、狩野了一  
金子敬一郎、内田成信  
大島輝久、友枝 真也  
谷友矩  
後見/中村邦生、友枝雄人  
《狂言「見物左衛門」》  
シテ/野村万作(人間国宝)  
《解説講演「心づくしの髷髪」》  
村上 漣(音楽堂邦楽主幹)

11.18 [火] 19:00開演(18:30開場)  
音楽堂カルチャーナビ2025 Vol.3  
村上漣とひも解く能の魅力

金沢歌劇座  
【第1夜】12.24 [水] 18:30開演(17:45開場)  
【第2夜】12.25 [木] 18:30開演(17:45開場)

オケストラアンサンブル金沢  
ステージアートの世界  
with オーケストラ・アンサンブル金沢  
【第1夜】～くるみ割り人形～



指揮:松井慶太(OEKパーマネント・コンダクター)  
監修:徳山華代  
出演:エコー・ドゥ・ハナヨバレエ、  
永井与志枝 バレエスタジオ  
チャイコフスキー/バレエ「くるみ割り人形」(全幕)

【第2夜】～「光」能登への祈り～



振付・演出:三野洋祐  
指揮:松井慶太(OEKパーマネント・コンダクター)  
出演:岩井優花(K-BALLET TOKYO)  
山本雅也(K-BALLET TOKYO) ほか  
創作バレエ「光」  
ビゼー/カルメン  
【全席指定】2夜セット券(S席のみ) ¥10,000  
各公演 S席 ¥7,000/A席 ¥5,000  
B席 ¥3,000  
※OEK定期会員S席¥1,500引き  
A席¥1,000引き(音楽堂チケットボックスのみの取扱い)

シニア割引 (65歳以上5%割引) 定期会費割引 (10%割引) 託児サービスあり (有料・要事前申込み) 安 1,000円以下で入場できる公演 0歳から入場できる公演

オケストラアンサンブル金沢 石川県立音楽堂以外の公演

10.7 [火] 19:00開演(18:15開場)  
小松定期公演「秋」



指揮:水戸博之  
ソプラノ:石川公美 ●テノール:金山京介  
モーツァルト/歌劇(ドン・ジョヴァンニ)序曲  
ヴェルディ/歌劇「リコレット」より「女心の歌」 ほか  
【全席自由】一般 ¥3,500/高校生以下 ¥1,500  
〈会場〉石川県小松市團十郎芸術劇場うらら  
〈問合せ〉OEK 小松友の会(ヨシタ楽器内)  
TEL.0761-22-5552

がんばろうNOTO  
ファミリーコンサート

モーツァルト/アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第1楽章  
柳原栄/キッチンコンチェルト  
ブラームス/ハンガリー舞曲第5番 [指揮者体験]  
ベートーヴェン/交響曲第7番 第4楽章 ほか  
〈問合せ〉石川県音楽文化振興事業団  
TEL.076-232-0171

〈志賀町公演〉  
10.9 [木] 13:00開演(12:30開場)  
指揮:碓山隆一郎  
ご案内役:新平衣里、谷口直美、沢芹菜  
〈会場〉富来活性化センター

〈珠洲公演〉能登建設プレゼンツ  
10.10 [金] 13:30開演(13:00開場)  
指揮:碓山隆一郎  
〈会場〉ラポルトすず

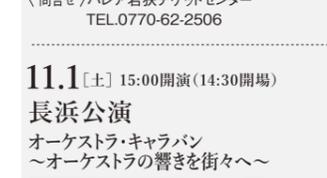
〈中能登公演〉  
10.11 [土] 14:00開演(13:30開場)  
指揮:碓山隆一郎  
〈会場〉コスモアイル羽咋

〈能登町公演〉  
10.29 [水] 14:00開演(13:30開場)  
指揮:横山奏 ●司会:新平衣里  
〈会場〉中能登中学校体育館

10.30 [木] 14:00開演(13:30開場)  
指揮:横山奏 ●司会:新平衣里  
〈会場〉宇出津小学校体育館

10.26 [日] 14:30開演(14:00開場)  
若狭公演  
指揮:末廣誠 ●ピアノ:今川裕代  
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」  
ベートーヴェン/交響曲 第7番  
【全席指定】一般 ¥3,000/高校生以下 ¥1,500  
〈会場〉ハレア若狭  
〈問合せ〉ハレア若狭チケットセンター  
TEL.0770-62-2506

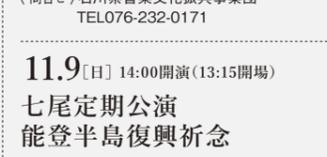
11.1 [土] 15:00開演(14:30開場)  
長浜公演  
指揮:飯森範親(群響常任指揮者)  
ソプラノ:小林沙羅、森谷真理、森野美咲  
メゾソプラノ:富岡明子、十合翔子  
テノール:宮里直樹  
バリトン:青山貴 ●バス:久保和範  
合唱:群馬交響楽団合唱団(合唱指揮:阿部純)  
児童合唱:藤岡市立小野小学校合唱部  
管弦楽:群馬交響楽団、  
オーケストラ・アンサンブル金沢(共演)



指揮:大井駿 ●ピアノ:今井菜名子  
モーツァルト/アイネ・クライネ・ナハトムジーク  
モーツァルト/ピアノ協奏曲 第23番  
モーツァルト/交響曲 第40番  
【全席自由】一般 ¥3,000/高校生以下 ¥1,000  
〈会場〉浅井文化ホール  
〈問合せ〉浅井文化ホール TEL.0749-74-4000

11.5 [水] 鎌倉公演  
指揮:垣内悠希  
共演:鎌倉ジュニアオーケストラ  
池辺晋一郎/祈り、そして光  
—能登半島地震犠牲者の鎮魂として—  
モーツァルト/交響曲 第41番  
ビゼー/「アルルの女」 ほか  
〈会場〉鎌倉芸術館小ホール  
〈問合せ〉石川県音楽文化振興事業団  
TEL.076-232-0171

11.9 [日] 14:00開演(13:15開場)  
七尾定期公演  
能登半島復興祈念

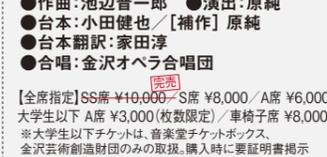


指揮:碓山隆一郎  
メゾソプラノ:鳥木弥生  
徳山美奈子/交響的素描「石川」+加賀と能登の歌による  
ビゼー/「カルメン」より  
メンデルスゾーン/交響曲第4番「イタリア」 ほか  
【全席自由】一般 ¥3,000/高校生・中学生 ¥1,000  
小学生 ¥500/車椅子・介助者 ¥2,000  
〈会場〉七尾市文化ホール 大ホール  
〈問合せ〉七尾市教育委員会スポーツ・文化課  
TEL.0767-53-3661

11.23 [日・祝] 14:00開演(13:00開場)  
2025年度 全国共同制作オペラ  
「高野聖」金沢公演  
装いを新たにあの感動が蘇る  
—泉鏡花不朽の名作待望の再演!

指揮:大友直人 ●語り:坂東玉三郎  
出演:城宏憲、富平安希子、今井俊輔、  
高橋洋介、弾丸(山海塾) ほか  
作曲:池辺晋一郎 ●演出:原純  
台本:小田健也/〔補作〕原純  
台本翻訳:家田淳  
合唱:金沢オペラ合唱団  
【全席指定】SS席 ¥40,000/S席 ¥8,000/A席 ¥6,000  
大学生以下 A席 ¥3,000(枚数限定)/車椅子席 ¥8,000  
※大学生以下チケットは、音楽堂チケットボックス、  
金沢芸術創造財団のみの取扱。購入時に要証明書提示  
OEK定期会員 SS席 ¥2,000、S席 ¥1,500割引  
(音楽堂チケットボックスのみ取扱)  
〈会場〉金沢歌劇座  
〈問合せ〉公益財団法人金沢芸術創造財団  
TEL.076-223-9898

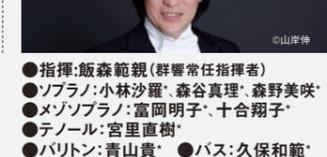
12.20 [土] 15:00開演(14:00開場)  
PFUクリスマス・  
チャリティコンサート2025  
令和6年能登半島地震・豪雨復興支援



指揮:碓山隆一郎 ●ヴァイオリン:竹澤森子  
徳山美奈子/交響的素描「石川」+加賀と能登の歌による  
メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲  
ベートーヴェン/交響曲 第5番「運命」  
【全席指定】¥1,500  
〈会場〉金沢歌劇座  
〈問合せ〉石川県立音楽堂チケットボックス  
TEL.076-232-8632

高崎公演  
11.29 [土] 16:00開演(15:00開場)  
群馬交響楽団第613回定期演奏会

11.30 [日] 16:00開演(15:00開場)  
群響創立80周年記念特別演奏会



指揮:飯森範親(群響常任指揮者)  
ソプラノ:小林沙羅、森谷真理、森野美咲  
メゾソプラノ:富岡明子、十合翔子  
テノール:宮里直樹  
バリトン:青山貴 ●バス:久保和範  
合唱:群馬交響楽団合唱団(合唱指揮:阿部純)  
児童合唱:藤岡市立小野小学校合唱部  
管弦楽:群馬交響楽団、  
オーケストラ・アンサンブル金沢(共演)  
菅野祐悟/群馬交響楽団新作委嘱(2025)  
マラー/交響曲第8番「千人の交響曲」  
モーツァルト/ピアノ協奏曲 第23番  
モーツァルト/交響曲 第40番  
【全席指定】一般 ¥10,000/S席 ¥9,000  
A席 ¥8,000/B席 ¥7,000/C席 ¥6,000  
〈会場〉高崎芸術劇場 大劇場  
〈問合せ〉公益財団法人群馬交響楽団  
TEL.027-322-4316

12.7 [日] 14:00開演(13:15開場)  
第19回 能美市ファミリーコンサート  
能美市誕生20周年記念



指揮:鈴木織術 ●ゲスト:ベイビーブー  
合唱:能美市合同女声合唱団  
ベートーヴェン/交響曲 第7番 第1楽章  
渡辺俊幸/能登の翼  
高校三年生、りんごの唄 ほか  
【全席指定】S席 ¥4,000/A席 ¥3,000  
B席 ¥2,000/B席(高校生以下) ¥1,000  
〈会場〉能美市根上総合文化会館  
〈問合せ〉能美市根上総合文化会館  
TEL.0761-55-8550

12.13 [土] 14:00開演(13:00開場)  
堺公演  
野村萬斎 with オーケストラ・アンサンブル金沢  
ファミリー/恋は魔術師



演出:野村萬斎(亡霊)  
指揮:松井慶太(OEKパーマネント・コンダクター)  
舞踊:花柳つづ(カンテラー)、工藤朋子(ルシア)  
メゾソプラノ:秋本悠希  
ギター:鈴木大介 ほか  
【全席指定】S席 ¥6,500/A席 ¥4,800  
B席 ¥3,800/S席(チケット枚数限定) ¥7,500  
〈会場〉フェニーチェ堺 大ホール  
〈問合せ〉フェニーチェ堺 TEL.072-223-1000

12.21 [日] 15:00開演(14:00開場)  
七尾公演  
指揮:碓山隆一郎  
司会:明読:森重有里彩(HABアナウンサー)  
〈会場〉能登演劇堂 ※定員600名  
(チケット申込・問合せ)  
コープいしかわホールセンター TEL.0120-759-853



12.12 [金] 19:00開演(18:15開場)  
Makoto Ozone No Name Horses  
20年目のthe Day 1



〈会場〉金沢市文化ホール  
〈主催〉金沢市芸術文化ホール共同事業体  
(公財)石川県音楽文化振興事業団  
〈問合せ〉ケイ・シー・エス TEL.076-224-4141

# オーケストラ・アンサンブル金沢 特別定期公演

(2025年11月~2026年2月)  
石川県立音楽堂邦楽ホール

「フランス実力派ピアニストが  
ベートーヴェン&ラヴェルの  
協奏曲を一機に演奏!」

ピアノ  
アルフォンズ・スマン  
アンサンブル「ル・バルコン」  
創設メンバー

指揮  
岡崎広樹  
東京国際指揮者コンクール2024入賞

Vol. 1 2025 11/14 (FRI) 金 · 15 (SAT) 土  
[19:00開演] [14:00開演]

「スペシャリスト2人の共演!  
シヨスタコーヴィチ協奏曲!」

指揮  
吉崎理乃  
東京国際指揮者  
コンクール2024第3位

ピアノ  
アレクサンドル・メルニコフ  
巨匠リヒテルの薫陶を  
受ける気鋭ピアニスト  
©Marco Borggreve

トランペット  
イエルーン・ベルワルツ  
北ドイツ放送響  
元トランペット首席奏者

より近く、より楽しく

Vol. 3 2026 1/30 (FRI) 金 · 31 (SAT) 土  
[19:00開演] [14:00開演]

「世界的ホルン奏者が奏でる  
モーツァルト&  
ドヴォルザークの名曲!」

ホルン  
ラデク・バボラーク  
ベルリン・フィル元首席ホルン奏者  
バボラーク・アンサンブル  
バボラークによって創設された精鋭アンサンブル  
©Lugie Cermakova

平日昼  
開催

Vol. 2 2025 12/4 (THU) 木 · 5 (FRI) 金  
[19:00開演] [14:00開演]

「次代を担う  
若きピアニストが  
3つの協奏曲を  
弾き振り!」

ピアノ  
北村朋幹  
国内外数々のコンクール  
入賞!

Vol. 4 2026 2/20 (FRI) 金 · 21 (SAT) 土  
[19:00開演] [14:00開演]



公演詳細



♪ チケット料金 (1公演) ※4公演とも同料金 | S席: 5,000円 | A席: 4,000円 | 桧敷席: 2,500円 | すたあらいと席: 1,000円 | 車椅子席: 5,000円  
※桧敷席は靴を脱いでお座りいただけます。お席によっては他のお客様が視界に入り、見えにくい場合がございます。

超 お得な 4公演 セット券 | 昼セット/夜セット (4公演 S・A席限定) | S席: 16,000円 | A席: 12,800円

♪ お得な 割引 | OEK定期会員割 (S・A席のみ) ... S席: 4,500円 | A席: 3,600円 | シニア割 (65才以上 S・A席のみ) ... S席: 4,750円 | A席: 3,800円 | U25割 (25才以下 前日より予約可) ... 全席種当日券: 半額

♪ チケットのお申込み | 石川県立音楽堂チケットボックス | ☎ 076-232-8632 | (窓口) 9:00~19:00 | (電話) 10:00~18:00

お申込みから座席の選択、お支払いまで 全てWEBで完結! | 登録無料



主催:公益財団法人石川県音楽文化振興事業団 | 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



## 石川県立音楽堂 オーケストラ・アンサンブル金沢

チケットのお求め | 石川県立音楽堂チケットボックス (石川県立音楽堂1F) | TEL 076-232-8632 (窓口) 9時~19時 (電話) 10時~18時

(公財)石川県音楽文化振興事業団 | 石川県金沢市昭和町20-1 | TEL 076-232-8111 | アクセス: JR北陸線 金沢駅兼六園口(東口)徒歩1分 / 北鉄バス 金沢駅下車

石川県立音楽堂HP | https://www.ongakudo.jp



オーケストラ・アンサンブル金沢HP | https://www.oek.jp

